



石海小学校だより

校訓 「あかるく なかよく 力いっぱい」

太子町立石海小学校
NO.4 令和5年7月14日
発行者：校長 久保田 昌之

石海小学校創立148年

1学期も残すところあとわずかとなりました。学習のまとめを行い、よりよい夏休みが迎えられるようにしていきたいと思ひます。

さて、石海小学校は、7月1日に創立148年を迎えました。玄関前の二宮尊徳像は、昭和7年に建立されましたが、銅像部分は戦争に供出され、昭和28年に再建されています。これまでも、そして、これからも石海小学校の子どもたちが、あかるく、なかよく、力いっぱい活躍する姿を見守ってくれることと思ひます。



大豆の苗を植え替えたよ!

ビニルポットに種まきをした大豆が順調に成長したので、学校の北側の畑に植え替えをしました。みのり会のみなさんにやさしく教えてもらいながら、同じ間隔をあけて丁寧に植え替えていきました。苗の植え替えが終わると、さらに大豆の直播きにも挑戦しました。大きく育つように、これから水やりや草ひきをがんばっていきます。



笑顔いっぱいの幼・小交流



総合的な学習の一環で、5年生の児童が石海幼稚園の園児と交流会を行いました。小学校での生活がよくわかるように、5年生が劇・クイズ・ゲーム等をして楽しく交流できました。来年4月には、1年生と6年生として出会うのが楽しみです。



七夕集会

運営委員会が中心となって、「全校でわくわくする夏を楽しもう」という目的で、七夕集会を開きました。体育館には、わくわくタイムに縦割り班で作成した七夕飾りが掲示されました。初めて登場した「七夕ビンゴ」や「もうじゅうがり」のゲームをして、全校で笑顔いっぱいの時間を過ごすことができました。

沖代遺跡見学

県道網干停車場新舞子線建設に伴い、沖代で縄文時代後期(約3700年前)の集落が発見されました。石海小学校の校区ということで、一般公開にさきがけて、6年生の児童が発掘現場を見学させていただきました。



竪穴住居跡や土器、石器、土偶の実物を見て感動するとともに、縄文時代から遠く離れた地域とも交流があったことがわかり驚いていました。

☆校外学習-3年生

3年生は、グリコピア神戸に行き、プリッツの生産ラインを見学したり、デジタルクッキングでオリジナルのお菓子を作ったりしました。次に、ヤマサ蒲鉾を訪れ、竹輪やカニ蒲鉾が出来上がる過程を見学しました。生産の工夫や努力、工場と自分たちの生活とのつながりについて考えることができました。



☆校外学習-4年生

4年生は、揖龍クリーンセンターエコロに行き、ごみ処理の様子を見学するとともに、分別してリサイクルすることの大切さを実感しました。



その後、ひょうご環境体験館を訪れ、デジタル地球儀・展示コーナーを見学したり、リサイクル石鹸作りをしたりして、さまざまな環境体験学習を行いました。

***** 教室の窓 *****

いよいよ梅雨も後半になり、夏本番が近づいてきた今日この頃です。先日、1,2年生の児童と1学期最後の書写の授業を終えました。いつも授業が終わると手紙を書いてくれたり、折り紙で作った作品をくれたりします。職員室に帰る道中も後ろにぞろぞろついてきます。書写の授業の後は気持ちが「ほっこり」しています。子どもがいる教室っていいなと再確認するひと時です。

その分夏休みは少しさみしくなりますが、夏休みでパワーアップしてくれるのを楽しみにしています。

〈文責：教頭 長谷川 大輔〉

・石海小学校ホームページでも、学校の情報を発信していますのでご覧ください。「石海小学校」で検索してください。

・石海小学校PTAは、アルミ缶のリサイクル活動を行っています。校舎北側の通路に回収箱を設置していますのでご協力お願いします。